資料3 ①

第一分科会

2009. 8. 5.
健やか親子検討会
厚労省
日本児童青年精神医学会　市川宏伸

課題1参加団体

全　42団体
幹事団体:
全国養護教諭連絡会議
日本家族計画協会
日本学校保健会
日本児童青年精神医学会
日本助産学会
日本泌尿器科学会

課題1の目標

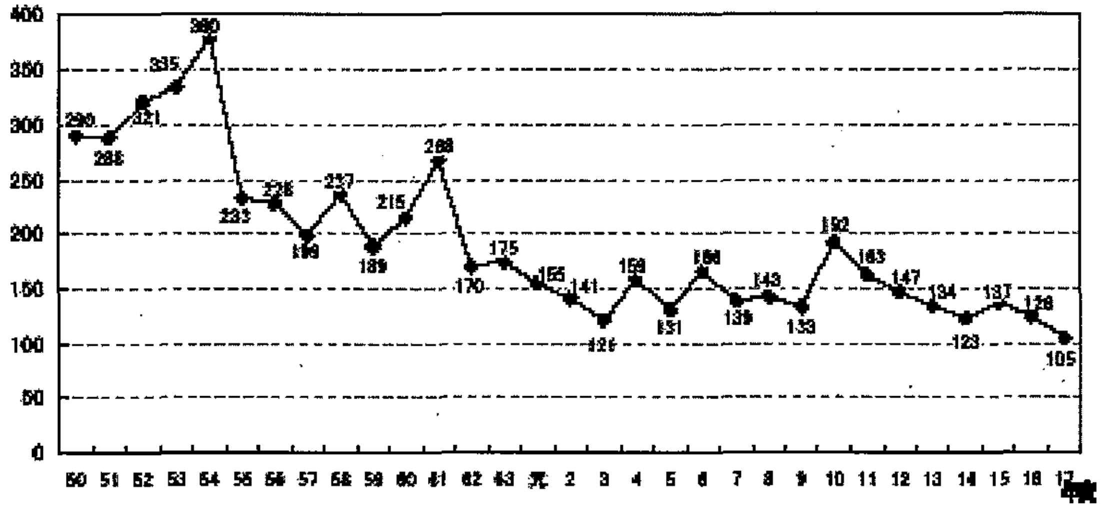
思春期の保健対策の強化と健康教育の促進

- 保健水準の目標
- 住民自らの行動の目標
- 行政・関係団体等の取り組みの目標

保健水準の目標

- 10代の自殺率
- 10代の人口妊娠中絶実施率
- 10代の性感染症罹患率
- 15歳の女性の思春期やせ症の発生頻度
- 児童・生徒における肥満児の割合

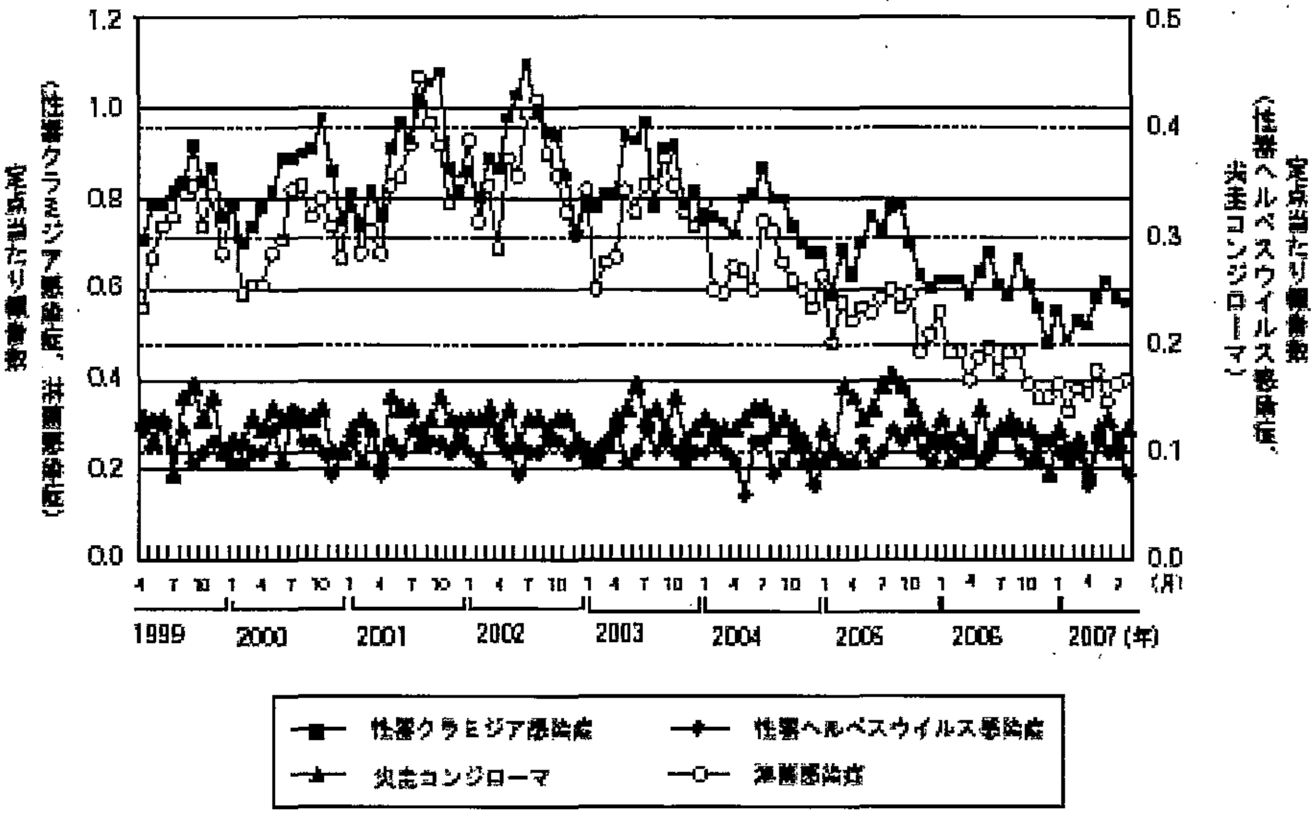
児童生徒の自殺の状況



（参考）
平成17年中における自殺者の総数（未遂を除く）は32,552人で、前年に比べ0.7%（227人）増加した。
（警察庁調べ）

図4. 若年齢層における性感染症の年別・月別推移
（15～29歳、1999年4月～2007年8月）

a. 男性



人口妊娠中絶件数および実施率の年次推移

	2002	2003	2004	2005	2006
総数	329326	319381	301673	289127	276352
20才未満	44987	40475	34745	30119	27367
15才未満	ー	483	456	308	340
15才	ー	1548	1274	1056	995
16才	ー	4795	3875	3277	3071
17才	ー	7915	6447	5607	4911
18才	ー	11087	9747	8236	7191
19才	ー	14747	12946	11635	10859
20～24才	79224	77469	74711	72217	68563

住民自らの行動の指標

- 薬物乱用の有害性について正確に知っている小・中・高校生の割合
- 10代の喫煙率
- 10代の飲酒率
- 性行動による性感染症等の身体的影響について知識のある広告性の割合

行政・関係団体等の取り組みの指標

- 学校保健委員会を開催している学校の割合
- 外部機関と連携した薬物乱用防止教育等を実施している中学校、高校の割合
- スクール・カウンセラーを配置している中学校の割合
- 思春期外来の数
- 思春期保健対策に取り組んでいる地方公共団体の割合
- 職位区の取り組みを推進している地方公共団体の割合

課題1グループの現状

各幹事団体の感想

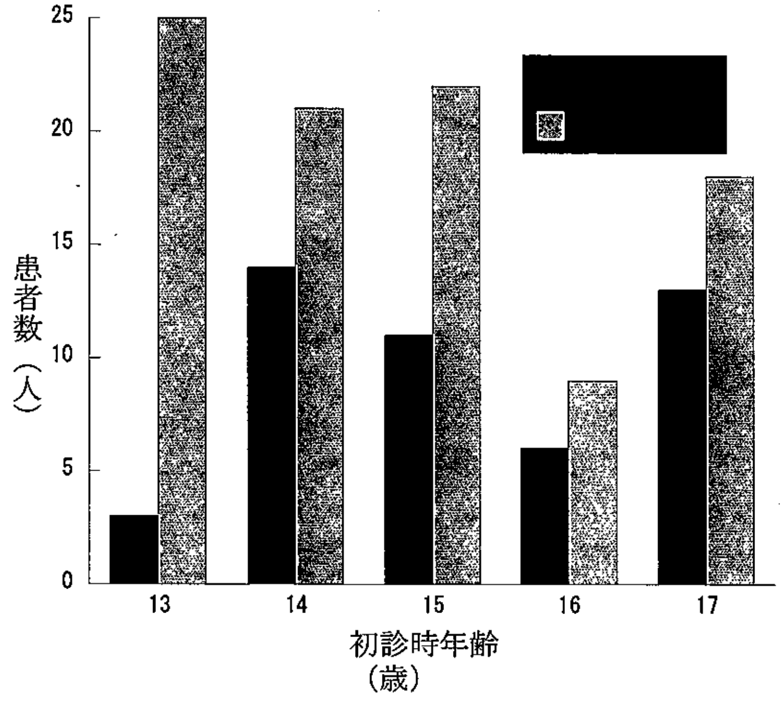
- 課題が多岐にわたり、他のグループとも関連する
- 幹事団体の会合に参加する団体が固定している
- 各団体の中の足並みが揃っていない
- 多くの課題が目標値に到達または近づいている
- 会合を持つにも軍資金がない
- 8年の経過は長い

課題1グループのこれから

各幹事団体の感想

- 隠れ参加団体の意向を把握する
  アンケート予定中
- 国民運動として方向性？
- 課題の再検討？
- 目標値の到達から質の確保あるいは予防へ

女子初診時年齢分布



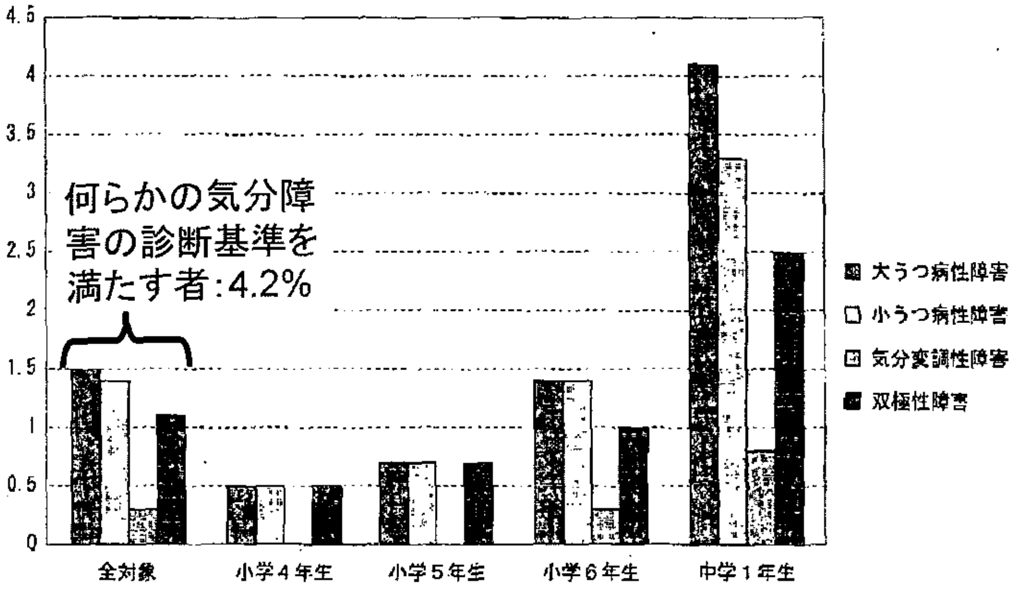


図１　気分障害の有病率

MINI-KID 2005日本語版を使用した小・中学生738名の調査による(傳田, 2007; 傳田, 2008)